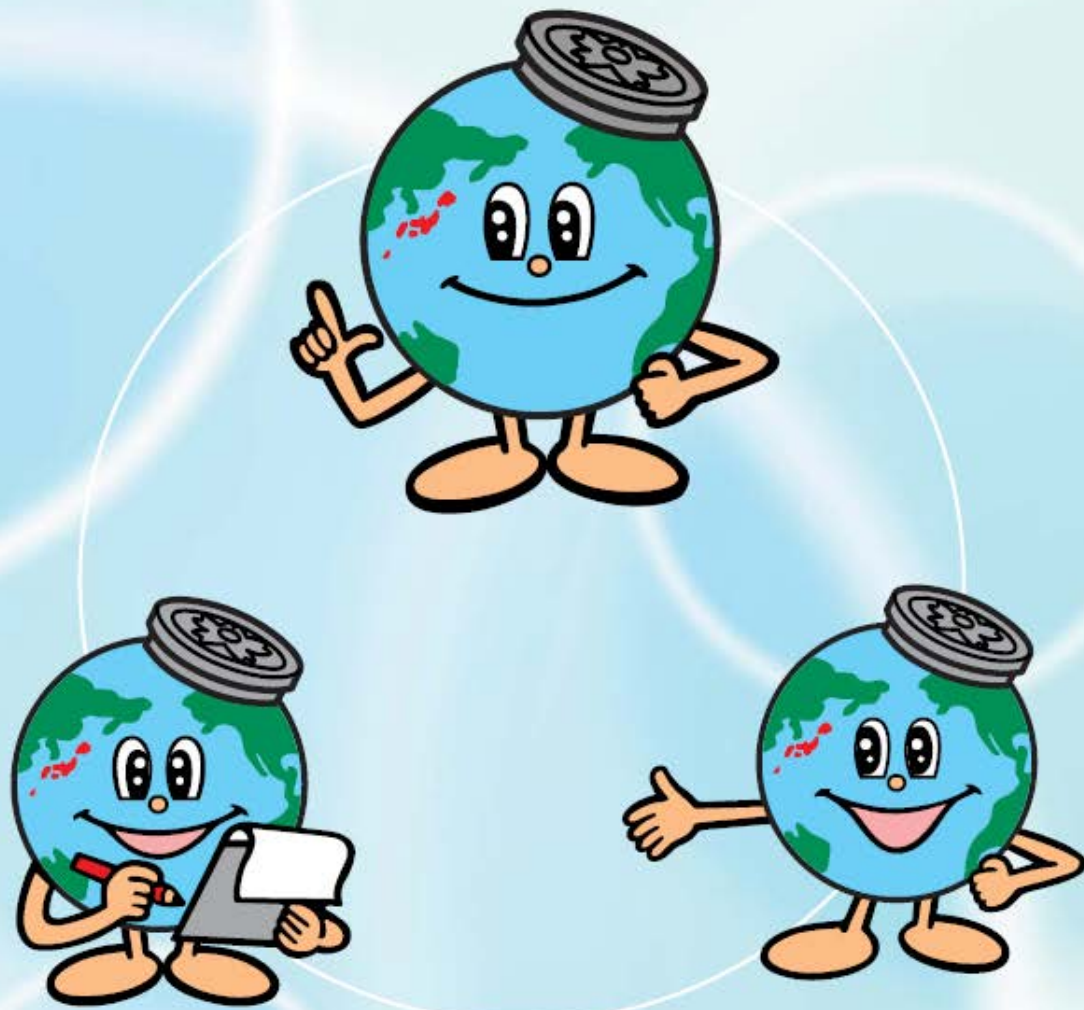


東京都下水道事業 経営計画2007

～安全で快適な都市生活をめざして～



都が平成18年12月に公表した「10年後の東京」で示された2016年の東京のあるべき姿を実現するには、下水道局がこれまで実施してきた様々な事業を今まで以上に環境に配慮して推進していく必要があります。

下水道局では、こうした考えを踏まえ、平成19年度から21年度までの3年間を計画期間とする「経営計画2007」を策定しました。

この計画は、お客さまである都民の皆さまや区市町村に具体的な施策の内容を明らかにするとともに、今後の事業を遂行していく上での指針となるものです。

局では、職員一人ひとりが常にお客さまサービスのより一層の向上を念頭におき、全力でこの計画の達成に取り組んでまいります。



経営計画の体系

下水道サービスの向上

主要施策の展開

重点事業の推進

維持管理の充実

危機管理対応の強化

地球環境保全への貢献

お客さまサービスの向上

経営効率化の取組

業務運営の見直し

建設・維持管理コストの縮減

技術開発の推進

人材の育成と技術の継承

重点事業の推進

安全性の向上

- 施設の老朽化や能力不足などに対応するため、下水道幹線などの基幹施設の本格的な**再構築**に着手します。
- 都市化の進展に伴う雨水流出量の増大や頻発する集中豪雨に対応するため、浸水の危険性が高い地域や繰り返し被害を受けている地域を重点化し、幹線や雨水ポンプ所の増強など**浸水対策**を推進します。
- 首都直下地震などによる震災が発生した場合でも、下水道機能を確保するため、マンホールと管きよの接続部の耐震化など**震災対策**を重点的に推進します。



(再構築前の幹線)

(更生工法による再構築後の幹線)

老朽化した幹線の再構築

[事業費]

(単位:億円)

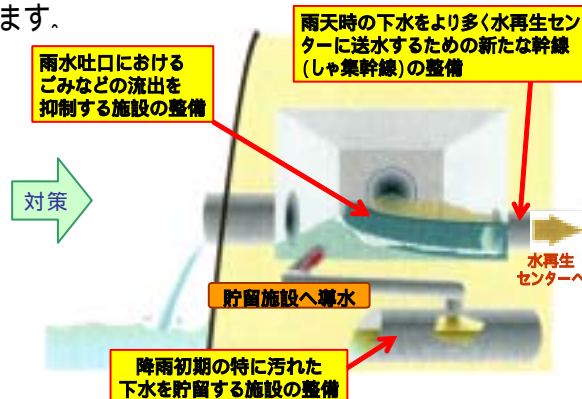
事業名		19年度	20年度	21年度	計
安全性の向上	老朽化施設の再構築	688	705	715	2,108
	浸水対策の推進	181	237	266	684
	震災対策の推進 未普及地域の解消	77	79	55	211
快適性の向上	合流式下水道の改善	62	62	51	175
	高度処理の推進	50	23	27	100
保全への貢献	地球温暖化の防止 エネルギーの有効活用	22	6	1	29
	資源・空間の有効利用	6	11	7	24
事業の効率化	ソフトプランの推進	21	16	10	47
	汚泥処理の効率化	47	29	36	112
工事費		1,154	1,168	1,168	3,490
用地・事務費		96	82	82	260
合計		1,250	1,250	1,250	3,750

快適性の向上

- 雨天時に河川等へ流出するごみや油などを削減するため、貯留施設の整備など**合流式下水道の改善**を推進します。
- お客さまが接する機会の多い水域の水質を改善するため、ちっ素、りんを除去する**高度処理**を推進します。



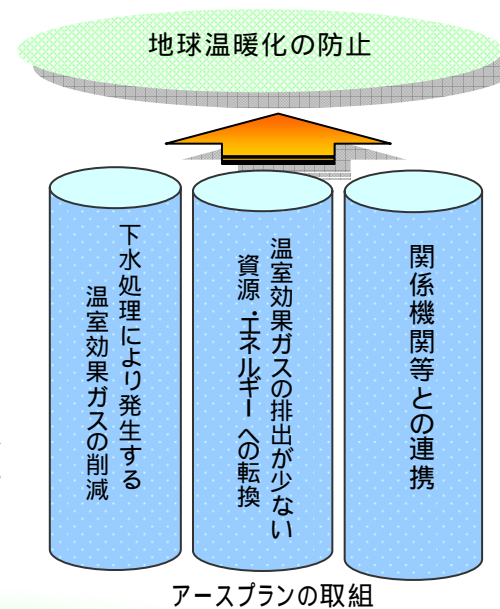
雨天時に放流される下水



合流式下水道の改善対策

地球環境保全への貢献

- 温室効果ガスを削減するため、下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2004」を推進し、汚泥の高温焼却を実施するなど**地球温暖化の防止・エネルギーの有効活用**を進めます。
- 循環型社会の形成に貢献するため、汚泥の資源化や再生水の利用拡大など、**資源・空間の有効利用**を推進します。



事業の効率化

- 維持管理費の削減を図るため、管きよ内の光ファイバーネットワークを活用してポンプ所の遠方監視制御などを行う**ソフトプラン**を推進します。
- **汚泥処理の効率化**を図るため、施設の集約化を推進します。

維持管理の充実

安全性の向上

- 道路陥没の原因となる管きよの損傷を防止するため、計画的な補修を行うとともに、**巡視・点検や立会いを充実**します。
- **浸水に対する安全性を確保**するため、浮上・飛散防止型マンホール蓋などへの計画的な取替えを行います。



他企業工事の立会い

快適性の向上

- **ごみや油などの流出を抑制**するため、管きよを計画的に清掃します。
- 道路管理者と連携し、臭気の出やすい雨水ますへの防臭装置の設置などによる**臭気対策を推進**します。



人力による管きよ内の清掃

地球環境保全への貢献

- 汚泥焼却時の運転管理の工夫などにより**温室効果ガスを削減**します。
- 高効率電動機などの省エネルギー型設備の導入により**電力消費量を削減**します。
- 非常用発電機などへの**排ガス対策を推進**します。



下水汚泥から発生するメタンガスを利用したバイオマス発電

事業の効率化

- 管きよ内へのテレビカメラ調査による健全度評価に基づき、**効率的な補修**を行います。
- 電力貯蔵型電池(NaS電池)により、夜間に蓄えた安価な電力を昼間に利用することで**電力コストを縮減**します。



電力コストを縮減するNaS電池

流域下水道事業

重点事業の推進

安全で快適な都民生活の確保

- 平成20年代後半までに**未普及地域が解消**されるよう、奥多摩町などの下水道整備と整合を図りながら、流域下水道の汚水幹線などの整備を促進します。
- 水再生センターの設備の延命化を図りつつ、**更新**を計画的かつ効率的に推進します。
- 複数の市にまたがり、雨水の排除が困難な流域で発生している浸水被害を軽減するため、**流域下水道の雨水幹線**の早期完成を目指します。
- 首都直下地震などによる震災が発生した場合でも、下水道機能を確保するため、施設の**耐震化**を推進します。

水環境の改善

- 降雨初期の下水を貯留する施設の整備など、**合流式下水道の改善**を推進します。
- 多摩川などの水質を改善し、一層良好な水環境を形成するため、**高度処理**を推進します。

[事業費] (単位:億円)

事業名	19年度	20年度	21年度	計
未普及地域の解消	24	23	11	58
老朽化設備の更新	54	52	51	157
雨水対策の推進	1	1	2	4
震災対策の推進	9	5	7	21
合流式下水道の改善	1	6	8	15
高度処理の推進	16	17	11	44
従来の仕組みを越えた流域下水道の取組(連絡管の整備)	1	5	20	26
工事費	106	109	110	325
用地・事務費	17	20	19	56
合計	123	129	129	381

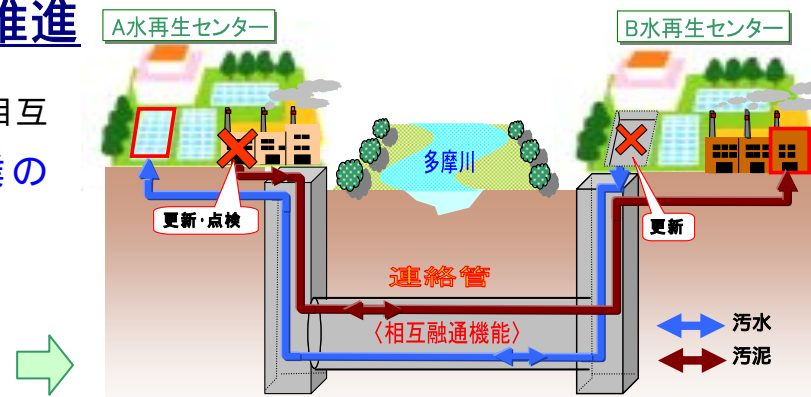
維持管理の充実

- 良好な下水道サービスを提供するとともに、維持管理費の縮減に努めます。
 - ◆ し尿の受入体制の整備など**地震や事故発生時の対応の強化**
 - ◆ 省エネルギー型設備の導入による**電力消費量の削減**

広域化と協同による効率化の推進

- 連絡管による水再生センター間の相互融通機能の確保などにより、**事業の効率化**に努めます。

[連絡管の機能]
 ・更新・点検時において水再生センター間で処理機能を相互融通します。
 ・地震等の災害時に、相互に処理機能のバックアップを行います。



水再生センター間の連絡管のイメージ

危機管理対応の強化

- 災害や事故が発生した場合でも、お客さまの生活への影響が最小となるよう、**下水道機能を確保**します。
 - ◆ 非常用電源(自家発電等)の確保などバックアップ機能の充実



共同防災訓練への参加

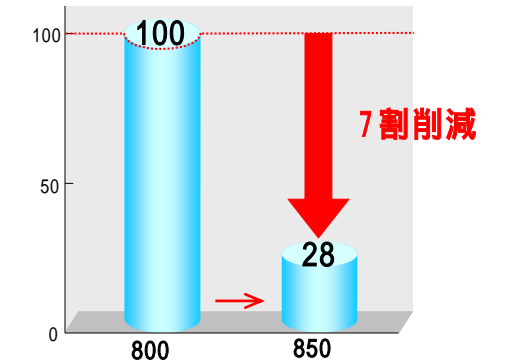
- 各種訓練の実施や協働体制の強化などにより、**迅速な下水道の復旧**を図ります。
 - ◆ 大都市、区市町村等との共同防災訓練の実施
 - ◆ 民間等との連携による早期復旧体制の整備



仮設トイレの設置が可能なマンホール

地球環境保全への貢献

- **温室効果ガス排出量の削減に向けた積極的な取組**を行います。
 - ◆ 下水道施設全体の省エネルギーシステムへの転換
 - ◆ 汚泥処理過程での温室効果ガスの排出抑制
- **ヒートアイランド対策**を推進します。
 - ◆ 道路散水事業への再生水の供給
 - ◆ 施設の屋上や壁面を利用した緑化の推進



汚泥の高温焼却による温室効果ガスの削減

- **環境マネジメントシステム**の運用・改善を行います。
 - ◆ 下水道事業の特性を活かした新たな環境マネジメントシステムへの移行



保水性舗装への散水(永田町及び霞が関地区。現在は地下鉄駅の湧水を使用しているが、再生水に変更予定)

お客さまサービスの向上

■ 地域とのパートナーシップを充実します。

- ◆ NPO やボランティアなどと連携した親しみやすい空間づくり
- ◆ インターネットを利用した下水道モニター制度によるアンケート実施などお客さまの声を事業に反映させる取組



▲ボランティアの方々などと連携して運営しているビオトープ(清瀬水再生センター)

■ お客さまの生活と環境を守る取組を推進します。

- ◆ 戸別訪問などによる浸水の危険性の周知
- ◆ 「ダイエットレシピ」の活用などによる「下水道に油を流さない」ためのPRの推進
- ◆ 区などとの連携によるビルピット臭気対策の推進
- ◆ 「排水なんでも相談所」による身近な相談窓口の提供



▲PR用リーフレット:少ない油でおいしい料理「ダイエットレシピ」

■ 下水道に関する情報をお知らせする取組を推進します。

- ◆ ホームページや見学施設の充実などによる多くのお客さまに下水道事業を理解していただく取組
- ◆ 局職員が出向いて行う「でまえ授業」などによる子どもたちへの環境学習の取組



▲見学施設「虹の下水道館」(有明水再生センター内)

■ お客さまの利便性の向上を図ります。

- ◆ 下水道料金のクレジットカード支払いの導入
- ◆ インターネットを活用した広域的な降雨情報の提供



▲ホームページでの東京アメッシュによる降雨情報

経営効率化の取組

● 企業努力

- 厳しい経営環境の中、最少の経費で最良のサービスを安定的に提供していくため、建設・維持管理コストの縮減や職員定数の削減(600人)など、計画期間3年間で総額303億円の**企業努力**を行います。

[企業努力の効果] (単位:億円)

事 項	金 額
建設・維持管理コストの縮減	118
業務運営の見直し	113
資産の有効活用	72
合 計	303 (42)

(注) 合計欄()内は流域下水道分で内書

● 区部下水道財政収支計画

- 可能な限りの企業努力を行い、**下水道料金水準を維持**(平成10年度から通算12年間)します。

[財政収支計画] (単位:億円)

区 分	経営計画期間			
	19年度	20年度	21年度	計
収 入	5,647	5,456	5,480	16,583
支 出	5,679	5,496	5,524	16,699
収支差引過不足額	32	40	44	116
累積資金過不足額 (18年度未見込 148)	116	76	32	-

● 流域下水道収支計画

- 徹底した事業の効率化により維持管理費の縮減に努め、**維持管理負担金の単価を維持**(昭和57年度から通算28年間)します。

[維持管理収支計画] (単位:億円)

区 分	経営計画期間			
	19年度	20年度	21年度	計
収 入	164	164	166	494
支 出	163	159	162	484
収支差引額	1	5	4	10

東京都下水道事業 経営計画2007 リーフレット

編集・発行 東京都下水道局総務部理財課
所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電 話 03-5320-6521
下水道局ホームページ <http://www.gesui.metro.tokyo.jp/>

平成18年度 規格表第4類 登録第128号

経営計画の詳細は、ホームページをご覧ください。

